

2022年11月1日

お客様各位

鉦研工業株式会社

MG ポンプローラロック式安全弁について

平素は、弊社のMGポンプを御使用して頂き、誠に有難う御座います。

MGポンプに使用しておりますローラロック式安全弁に関しまして2022年10月中旬にローラロック式安全弁のバルブボディ上端ねじ加工逃げ部分の根本付近が破損し、飛来する事故が発生致しましたので注意喚起と致しまして下記ご連絡申し上げます。

1. 破損品

ローラロック式安全弁 P30785-E (破損品は、中古ポンプから部品取りした中古品)

2. 破損箇所

バルブボディ⑱-1 P20408-C の上端ねじ加工逃げ部分の根本付近(バルブキャップ⑧ P41460-A 接続ねじ下端部付近)(添付図参照下さい)

3. 推察される破損原因

現在、当時の状況や破損状態を聴取し、想定される原因を調査しております。想定される原因の一つに、ローラロック式安全弁に挿入されるクッションラバー⑦P42737の劣化、未挿入または紛失が考えられています。

4. ご確認とお願い

ローラロック式安全弁に挿入されているクッションラバーは、ピストンガイド⑫ P31418 の衝撃を緩和する重要な部品です。

現在ご使用中のお客様は、ローラロック式安全弁に挿入されているクッションラバーの劣化状況・装着の有無をご確認下さい。

万が一、クッションラバーが劣化していたり、未装着を確認された場合は、直ぐに新品のクッションラバーと交換・装着頂きますようお願い致します。

ローラロック式安全弁は、MGポンプの破損を防止して事故を未然に防ぐ重要な安全装置です。

安全弁のご使用前には、安全弁を構成する全ての部品について、傷、汚れ、変形、腐食、劣化状況及び凍結や使用流体での固着等の状態を確認して頂き、作動確認を行って下さい。また、ご使用後は速やかに、分解および清掃を行って下さい。

ローラロック式安全弁の分解・清掃および点検は、MGポンプ安全にご利用頂くために必要な作業です。

お客様のご理解、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

以上

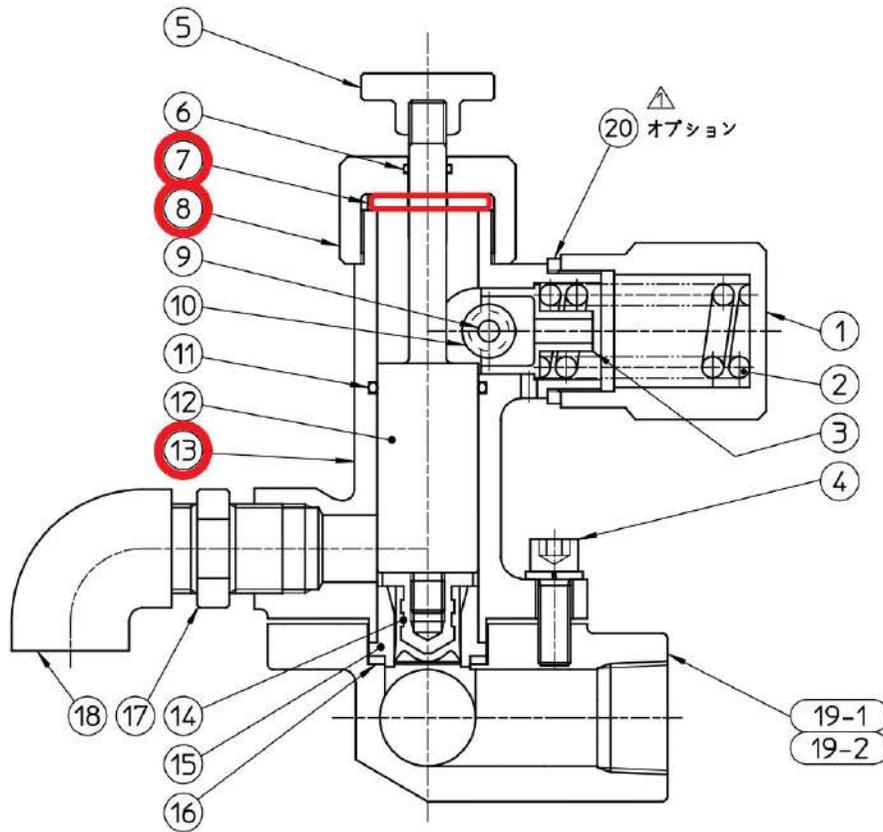
5.実物画像・パーツリスト



破断箇所

クッションラバー





△	20	P49-0962	スペーサ		1
△	19-2	P20441-B	バルブマニホールド(A)	1-1/4" (MG-5h,-5A,-10)	1
△	19-1	P20407-C	バルブマニホールド(B)	2-1/2" (MG-15h,-25,-30,-40)	1
	18	EL-1	エルボ	1"	1
	17	NPL-1	ニップル	1"	1
	16	P41357	パッキン		1
	15	P41473	ピストンライナ		1
	14	P41355	ピストン		1
	13	P20408-C	バルブボディ		1
	12	P31418	ピストンガイド		1
	11	OR-P-38	Oリング	P38	1
	10	P41461	ローラ		1
	9	P41467	ローラピン		1
	8	P41460-A	バルブキャップ		1
	7	P42737	クッションラバー		1
	6	OR-P-14	Oリング	P14	1
	5	P41475-B	プッシュヘッド		1
	4	BTC-M12-35	キャップスクリュ-ボルト	M12x35 SW付	4
	3	P41462-B	ローラケース		1
	2	P41476	ロックスプリング		1
	1	P41468-A	スプリングリテーナ		1
番号 NO	部品番号 PARTS No.	部品名 NAME	摘要 REMARKS	個数 QUANT.	

NAME			SCALE		
ローラロック式安全弁組立断面図					
MODEL	DATE	APPVL.	CHK.	DSGN.	DWG.
MGホンブ	2006-7-4		土屋	平田	H/H
KOKEN BORING MACHINE CO., LTD. TOKYO, JAPAN			NO.	P30785-E	

△ 設84-145 (2011-3-18)

△ 設83-161 (2010-3-24)